

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇国際プラスチックフェア IPF JAPAN2011

ー塩ビものづくりコンテスト2011の入賞作品が展示ー

塩ビものづくりコンテスト実行委員会事務局

## ■随想

◇今年は「世界化学年」 ー日本化学工業協会の取組みー（2）

一般社団法人 日本化学工業協会 井上 歩

## ■編集後記

## ■トピックス

◇国際プラスチックフェア IPF JAPAN2011

ー塩ビものづくりコンテスト2011の入賞作品が展示ー

塩ビものづくりコンテスト実行委員会事務局

10月25日から29日までの5日間、幕張メッセホールで開催された「[国際プラスチックフェア](#)」に塩ビものづくりコンテスト2011の[入賞以上の全作品](#)が大きな独立した8小間に招待展示されました。

この展示会は国際プラスチックフェア協議会の主催で、プラスチック・ゴムに関する原材料、機械・装置、製品、リサイクル機器、受託加工などの技術や情報の交流と普及を図り、プラスチック・ゴム産業の発展に寄与することを目的に、3年に一度開催されています。今回は751社・団体が出展し、約4万4千人の方が来場されました。

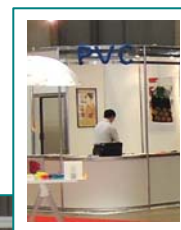
今回の展示の機会は、厳しいプラスチック産業の中であって、塩ビものづくりコンテストのポジティブな取り組みが主催者の目に止まり、展示のお誘いを頂きました。あらためて、事務局の担当の方に、塩ビものづくりコンテストを始める契機やデザイナーとのコラボレーションによる新たな価値作りへの姿勢をご理解頂き、自由に作品を見て頂く雰囲気作りをお願いしていました。



その意を汲み取って頂き、今年7月に六本木のAXIS GALLERY “Symposia”で展示されたときのイメージ通りに、白を基調とした床や展示台に色とりどりの作品が見やすい配置で展示され、シンプルで何処からもフリーに立ち寄れる開放的な空間が演出されていました。また、周辺にもスペースを広くとり、憩いの場所としても楽しめる雰囲気を醸し出していました。



作品展示の近くの2小間には、取り組みの紹介や準大賞を取った“サクラ”のノベルティーを配布して、見学に来られた方とお話しをする機会を作りました。お陰で、2千名を超える方が作品展示場に来場され、熱心に作品を見られていました。



今回、このような良い機会を頂き、来場された方の表情を伺い、塩ビ素材の先行きが楽しくなりそうな気配を感じています。今後も、塩ビものづくりコンテストを関係者と一緒に継続して、塩ビのポジティブな取り組みで業界の活性化に努めて行きたいとあらためて思っています。(了)

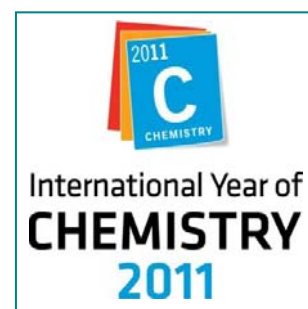


## ■ 随想

### ◇今年「世界化学年」 —日本化学工業協会の取組み— (2)

一般社団法人 日本化学工業協会 井上 歩

前回、日本化学工業協会（以下、日化協）の世界化学年への取組みの中の『社会一般への「世界化学年」の周知』、『会員企業・団体への「世界化学年」の周知と活動支援』についてご紹介しましたが、今回は、日化協自体の3つの取組みをご紹介します。



1995年に始まった「夏休み子ども化学実験ショー」は、「夢・化学—21」委員会（日本化学会、化学工学会、新化学技術推進協会、日化協の4団体で構成）が主催し、今年で17年目を迎えました。当初、今年是世界化学年であることから、規模を拡大して夏休み期間中に開催する予定で準備を始めましたが、3月11日の東日本大震災と福島第一原発の事故により、取り巻く状況が一変してしまいました。

具体的には、4月に、開催中止、場所の変更、時期の変更、他イベントへの変更等を検討しましたが、「長年継続してきた実験ショーを今年も是非実施したい。だが、節電対応を考慮し、夏休み期間中の東京での開催は難しいだろう」と考え、時期をずらして11月26日（土）～27日（日）に、[「子ども実験ショー2011～世界化学年スペシャル～」](#)として開催することにしました。会場は、例年通り東京お台場の日本科学未来館ですが、例年他のイベントで塞がっていた1階も使えることになり、「世界化学年スペシャル」の名にふさわしいだけのスペースを確保することができています。



[今年の告知チラシ](#)  
(クリックでダウンロード)

このため、子どもたちが化学実験を体験し、化学の面白さや不思議さに触れてもらう実験コーナーを昨年の13から20に増やし、ステージイベントも例年実施している「なぜなに化学クイズショー」と「化学マジックショー」に加え、世界化学年特別ステージとして「光り絵パフォーマンス」、「ワクワクケミカルスクール」、「化学かるた道場」を実施することにしました。

なかでも、「光り絵パフォーマンス」は、世界で活躍するパフォーマンスアーティスト和代人平氏をお招きし、暗闇に、蓄光塗料を塗ったボードにペンライトで描かれた美しく幻想的な光の風景が浮かび上がる、化学と芸術がコラボした世界化学年スペシャルにふさわしい企画となっています。

また、化学の実験を小学校の理科の授業風にショーアップした「ワクワクケミカルスクール」は、エンターテインメント性豊かに演出した化学の実験と化学のイメージを盛り込んだキッズダンスステージを、今回の子ども化学実験ショーのために創作しました。



昨年の実施模様

また、「子ども化学実験ショー2011」が開催される日本科学未来館では、同時期の11月19日(土)～27日(日)に、日本化学会が主催する「[きみたちの魔法ー化学『新』発見](#)」展が開催されます。この企画では、化学の不思議さ、美しさ、面白さを、さまざまな展示、映像、イベント等を通じて五感で体験することができます。

さて、この「子ども実験ショー2011」は、小学生を主な対象とし、化学の不思議さ、面白さを伝えることを目的としていますが、大人に向けた取組みも行っています。

すでに終わってしまいましたが、そのひとつが10月26日(木)～27日(金)に、東京一ツ橋の学術総合センターで開催された「[化学工業日報社 世界化学年記念シンポジウム・講演会](#)」です。この会は、化学工業日報社が自社の創立75周年記念事業も兼ね、「化学」と社会とのかかわり、未来に向けた可能性などを、化学業界関係者、自動車業界関係者、化学研究機関関係者、大学生、NPO等へ幅広くアピールする場として企画・実施されました。

日化協は、そのなかの「化学産業展示コーナー」の企画に協力し、会員企業各社からのご協力を得て、化学(化学技術)が人類の進歩(持続的成長)を支え、人々の生活に貢献していること、今後も貢献していくポテンシャルがあること、を紹介することを目的に、人類の進歩を支えてきた化学工業の歴史の年表での紹介、身の回りの生活に貢献する化学製品の展示、化学産業のポテンシャルのパネル紹介を行いました。

「記念シンポジウム・講演会」全体では、総合化学5社トップによる「化学産業の今・未来」をテーマとしたパネルディスカッションに500名以上が集まるなど、盛況のうちに終わりましたが、「化学産業展示コーナー」については、受付を済ませた後、展示コーナーに立ち寄らず、直接「シンポジウム・講演会」会場に向かわれてしまった方もいて、もう少し多くの方にご覧いただきたかったと思いました。



← 食品・衛生分野



自動車分野→

化学産業展示コーナー

3つ目の取組みが、12月15日(木)～17日(土)に東京お台場ビッグサイトで開催される「[エコプロダクツ展](#)」への出展です。この取組みでは、小中高生や一般の方に、化学産業が地球環境問題(温暖化対策)に貢献していること、社会における化学産業の重要性などを分かりやすく紹介し、もっと知ってもらうことを目的に、ブースを出展します。

ブースのデザインや具体的な展示内容については、現在、詰めつつありますが、なるべく多くの人に立ち寄ってもらい、世界化学年の紹介、e-LCAを中心とした化学産業の地球環境問題（温暖化対策）への貢献、私たちの生活を支える身の回りの化学製品・化学技術などを、パネル展示やクイズラリー、簡単な実験体験コーナーなどを通じて、小中高生や一般の方に、分かりやすく伝えたいと考えています。

このように世界化学年への大きな3つの取組みが10月～12月に集中してしまい、日化協広報は、てんやわんやの状況ですが、現在、これから開催される「子ども実験ショー2011～世界化学年スペシャル～」と「エコプロダクツ展」に向け、全力で準備を進めています。ぜひ皆様も、これらの会場にお運びいただき、世界化学年の最後を一緒に締めくくっていただければと思います。（了）

前回：[今年は「世界化学年」 - 日本化学工業協会の取組み - \(1\)](#)

## ■ 編集後記

先日、帰省先から飛行機で帰京したおり、思いかけず今話題のANA ボーイング 787 ドリームライナーに乗りました。機体構造の50%には炭素繊維複合材を使用しているなど、日本の技術が多く使われているそうです。機内はきれいで座席幅は広くとても静かでした。最近の飛行機は割引価格では新幹線より安く、時間も短いため帰省に頻繁に利用しています。今回は、新しい飛行機で何だか特をした気分になりました。（ももっち）

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 東 幸次

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)